

令和7年度 外務省「高校講座」

大橋博起先生は、今年のG7サミットに企画官として全体を統括され外交文書の取りまとめなどに尽力されたことやサミット参加首脳の素顔などについて、ユーモアを織り交ぜて説明してくださり、外務省や外交官の仕事の面白さややりがいについて、理解が深まりました。

また、地図の南北を反転させたり中心をずらすことによって見方が変わることを指摘され、外交を行う際の重要な視点を教えてくださいました。

最後には、「人、旅、本は人生を豊かにする」「何事にも一歩を踏み出す勇気を持とう」「果敢にチャレンジする者には、必ずチャンスが訪れる」など、ポジティブな言葉を数多くかけてくださり、大いに刺激を受けました。

最後に、1年生の代表生徒が謝辞を述べました。



午後からは、2、3年生の希望者も交えて、座談会を行いました。首相や外務大臣が交代すると外交政策は変化するのか、言語も文化も価値観も違うような人々と関わる時にはどのような点に注意すべきか、英語以外の言語を学ぶことの意義、海外へ移住することはどのくらい大変か、などといった様々な質問に対して、丁寧に回答してくださいました。大変有意義な、示唆に富んだお話を聞くことができました。

【生徒の感想】

<講演会>

- ・実際に日本や世界で活躍している人がもつエネルギーはすごいと思った。私もいつかやりがいをもって働けるような仕事に就くために、これから、学力と経験を蓄えていきたいと思った。
- ・私は高校に入って少しは自分の見ている世界が広がったと思っていたけれど、まだまだ私の見ている世界はちっぽけなんだなと思った。これから多くのイベントやボランティア活動に参加して、自分が将来どのような道に進みたいのか、じっくり考えていこうと思った。
- ・各国が自国を中心とした地図を作ると世界の見え方が全然違うということから、人それぞれの観点で、もの、ことの見え方は全然違うと言えるのかなと思った。これからは人それぞれの意見があることを当たり前だと思い、人の意見を否定しないようにしようと思った。
- ・私は今進路や将来の夢がまだ決まっていなくてちょうど悩んでいたところだったので、少し気が楽になった。今の時期は好奇心を持って、自分にボーダーを引かずにいろんなことに触れてみたり挑戦したりして、自分がじっくりくるものにいつか出会えたらなと思った。今この瞬間の、自分の目の前のことを一生懸命楽しんでやろうと思った。
- ・外交についてほとんど知らなかったし興味がなかったけれど、思ったよりも堅苦しくなく、楽しそうな仕事だと知った。特に、工夫することで違いが生まれるのだということを実感した。また、まったく興味のない外交の話聞いたのにとっても楽しめたし、職業の選択肢として新し

く考えることができたので、自分の知らないことや興味がないと思っていることでも貪欲に挑戦していきたいと思う。

<座談会>

- ・座談会には、午前の講演会の「小さな一歩を踏み出す勇気を大切にしてほしい」というお話を受けて、貴重な機会を活かしたいと思い参加した。国外に移住するのは国内の引越しと同じくらいにハードルが低いと語る先生の言葉から、日本から世界へはばたくということの素晴らしさを感じた。
- ・緊張している私達をリラックスさせるような話し方や反応の受け取り方、質問への返し方などの話す力がすごいと思った。
- ・外交官は大変な仕事だというイメージばかりだったが、大橋先生はむしろ楽しんでいらっしゃるようで、それは大橋先生の人柄や積み上げられてきた努力や経験に加え、知的好奇心や人と深く関わろうとする姿勢があるからなのではないかと考えた。自分が職業を選択するとき、また学びたい分野を選択するとき、自分が楽しめること、深く追究したいと思えることを大切にできたらよいなと思う。
- ・自分の想像とは違う質問が飛び交っていたりする環境だったので、高岡高校にはこのように考えている人もいるのだと驚いた。